

日本セキュアジェネレーションが 30 日から組込型指紋認証モジュールの新モデル「FDA02」を販売へ、新手法で従来モデル比、約 800%の高速化に成功

日本セキュアジェネレーション（本社：東京都中央区、秋葉茂隆社長）は 24 日、組込型指紋認証モジュールの新モデル「FDA02」の販売を 6 月 30 日から開始すると発表した。新たに開発した照合アルゴリズムとハードウェアにより、従来機種「FDA01」と比較し照合速度を約 800%高速化、消費電力を約 40%削減している。

FDA02 は、"光学式指紋読取りセンサー"と "CPU ボード"から構成されるスタンドアロン型の組込型指紋認証モジュールである。新機能として、ID の入力が無い場合でも高速に本人認証ができる指紋照合アルゴリズムが新たに搭載された。

これまでの組込型指紋認証モジュールで ID の入力無しに指紋照合を行なった場合は、一般的に該当指紋が見つかるまで 1 対 1 の認証を人数分繰り返す仕組みとなり、認証の速度が十分でないことが問題として残されていました。

今回リリースした組込型指紋認証モジュール「FDA02」は、照合アルゴリズムとして、指紋の模様全体のベクトル情報などを利用する新開発の"Multi-DimensionalVector (多角的ベクトル構成法)"と、既存の"特徴点抽出法"との 2 つの手法を複合利用することで、高速かつ正確な指紋照合の実現に成功している。

指紋データには、これまでの指紋の端点・分岐点等とその相関といった特徴点だけではなく、指紋の模様全体のベクトル情報などが加えられている。実際に照合を行なう際は、そのベクトル情報などを元に、あらかじめ類似度順に指紋データの並べ替えが高速に行なわれ、その後、類似度の高い特徴点データから順に、特徴点抽出法による指紋照合が行なわれる。

新アルゴリズムの搭載により、旧製品 FDA01 の照合のスピードがスタンドアロン環境で実測約 28 人 / 秒であったものが、FDA02 では約 230 人 / 秒となり、約 800%の高速化を実現しております。また、先に発表した高速指紋照合サーバソフトウェア「SecuSearch」との連携で、1 万人 / 秒のシステムも実現可能となっている。

FDA02 は、ドアロックシステムの他、金庫、医療用機器、分析機器などセキュリティ製品および操作履歴管理が必要とされる業務用機器への組込をターゲットとしております。価格はオープンプライス。年間 1 万台の販売を目標としている。

なお、FDA02 の開発および製造は、米国 Secugen Corporation で行なわれている。

(2 0 0 3 ・ 6 ・ 2 4)